

「合格体験記」

私は、和洋女子大学家政学部生活環境学科を受験し、合格することができました。高校入学当初から進学を考えていましたが、興味のある職業が多く、何を学びたいか、決まっていませんでした。しかし、2年生の時に受検した被服製作技術検定の和服・洋服2級合格を経て、被服の分野に興味を持ち、和裁と洋裁どちらの分野も専門的に学ぶことができる学校に進学したいと考えるようになりました。和洋女子大学は、実践的な縫製技術を学べることも魅力ですが、元々興味のあった家庭科教員免許の取得や被服製作の現場で役立つパターンメイキング技術検定などの資格の取得内容も充実しているため、この大学を志望しました。

私は公募型の学校推薦で受験しました。選考方法は、小論文 60 分 800 字と面接 20 分でした。青雲高校の先輩で和洋女子大学に進学した方がいなかったため、募集要項と赤本をもとに対策を始めました。小論文対策は過去の受験問題と小論文担当の先生が準備してくださった問題を何度も解き、練習を重ねました。また、面接対策は自分の考えをまとめるためにノートに書き出し担任の先生に何度も添削をしてもらいました。私は緊張すると頭が真っ白になるため、何度も口に出して練習しました。担任の先生だけでなく、総合生活科の先生方全員に面接練習をお願いし、受験前日まで放課後残って練習を重ねました。

試験前日から不安でいっぱいでしたが、当日は今まで練習してきたことや小論文の書き方のポイントなどを直前まで見直して臨みました。小論文は予想通り要約 200 字論述 600 字でした。小論文担当の先生が考えてくださった練習問題とほぼ同じ内容が出題され、しっかり自分の考えを書くことができました。また、面接は始めから終わりまで和やかな雰囲気、頭が真っ白になることなく自分の考えを話すことができました。

自信をもって伝えたいことを伝えることができたので、自分の力をすべて出し切れたと思います。

今回の進路活動を通して、準備は早めに始め、自分の判断だけで行動せず、先生方に協力してもらいながら対策をしていくことが大切だと感じました。進路対策の修正をする場面もありましたが、早いうちに活動を始めたので修正する時間がありました。募集要項の確認はとても大事です。また、選考方法に小論文と面接がある人は、指示待ちではなく、主体的に行動し、ひたすら練習してください。最後に必ず結果がついてきます。

「合格体験記」

私は、株式会社アイオー精密より内定をいただきました。元々、地元で働きたいという思いがあり、ものづくりを通じて人々の生活を支える製造業界に関心があったためです。

企業見学会に参加した際に、独自のビジネススタイルを通じ自社の発展に努められている点や、地域貢献に注力されていることを知りました。社内の雰囲気も魅力的だと感じた点が受験を決めたきっかけです。

試験内容は、適性検査、小論文、面接でした。適性検査は、部品の組み立て10分、性格検査20分、少数計算、図形問題20分、電球のデッサン20分の4つがありました。少数計算・図形問題は問題数が非常に多く、全て解き終わることができませんでした。小論文は「日本の製造業界が今後も勝ち残っていくために有力と考えていること」「幼少期の頃印象に残っている匂いと現在の自分への影響」「10年後の自分は会社や社会においてどのような立場になり、どのようなことをしているか」これら3題が出題され60分で書き終える必要がありました。企業見学会の際に、出題内容は例年似ているとおっしゃっていたため、当日同じ内容が出題されることを想定し、これら3題を中心に対策しました。面接は2回行われ、それぞれ20分程でした。1回目と2回目では面接官が変わり、最後は社長との面接もありました。1回目の面接では比較的答えやすい質問が多かったですが、2回目では面接官に社長もいらっしゃり、質問のペースが早く、自分の回答を深堀りされるような形式で、緊張しました。うまく話せるか不安を抱えることもあるかと思いますが、落ち着いて自分の考えを話すことが大切だと思います。

苦労したことは、受験先を選ぶことと、試験対策です。就職先を選択する際は将来を考えて選定をすることが必要です。気になる企業は必ずホームページなどで調べたり、会社見学に行ってみることが大切だと感じており、私は3社の見学を行い、第一志望が変わりました。実際に社内に入ってみると同じ職種でも全く違いがあるので、様々な企業と比較することをおすすめします。試験対策では、小論文対策と面接練習を重点的に行いました。面接は自分の考えを正直に落ち着いて答えることを意識して練習に取り組みました。小論文は比較的題目が難しかったので何度も練習し、過去にはなかった題目が出題されても書けるように様々なテーマを自分で用意して対策を行いました。今回の受験では小論文を含め過去の問題と同じ試験内容だったため、事前の対策が生きました。

また、先輩の報告書を参考に試験対策を進めました。面接では、たくさん質問がされ、企業理解の度合いを確認されます。そのため、自分で得た学びや気づきは都度メモすることも大切です。

進路の取り組みは、自分の将来を左右する大切な取り組みです。自分自身と向き合い本気で取り組めば取り組むほど、良い結果が表れます。常に前向きでいることは簡単ではないですが、自分で自分を下げることだけはやめましょう。成果を発揮するために努力するだけです。目標に向かって頑張ってください。